**事業類型 ：施設運営型　　部　　局 ： 住宅まちづくり事 業 名 ：府営住宅事業**

**注記（事業別財務諸表・府営住宅事業）**

**１．追加情報**

（１）固定資産の減損の状況

（行政財産）

減損の兆候があるもの（減損を認識した場合を除く）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　用途 | 種類 | 場所 | 帳簿価額（円） | 減損の兆候の概要 | 複数の固定資産を一体として行政サービスを提供するものと認めた理由 | 減損を認識しない根拠 |
| 府営住宅城山台２丁外１７住宅 | 土地 | ー | 17,439,075,003 | 使用低下の見込み（耐震改修による募集制限等） | ― | （耐震改修後）回復の見込み |
| 建物 | 13,194,030,009 | 使用低下の見込み（耐震改修による募集制限等） | 一体として府営住宅としての用を成しているため | （耐震改修後）回復の見込み |
| 工作物 | 8,109,071 |
| 府営住宅狭山外１７住宅 | 土地 | ー | 14,322,314,191 | 使用低下の見込み（一部用途廃止予定） | ― | 使用を継続 |
| 建物 | 8,843,521,271 | 使用低下の見込み（一部用途廃止予定） | 一体として府営住宅としての用を成しているため | 使用を継続 |
| 工作物 | 21,244,591 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 用途 | 種類 | 場所 | 帳簿価額（円） | 減損の兆候の概要 | 複数の固定資産を一体として行政サービスを提供するものと認めた理由 | 減損を認識しない根拠 |
| 府営住宅赤坂台３丁外４住宅 | 土地 | ー | 3,605,574,000 | 使用低下の見込み（耐震改修・一部用途廃止予定） | ― | 使用を継続・（改修後）回復の見込み |
| 建物 | 4,136,602,622 | 使用低下の見込み（耐震改修・一部用途廃止予定） | 一体として府営住宅としての用を成しているため | 使用を継続・（改修後）回復の見込み |
| 工作物 | 19 |
| 府営住宅竹城台第４外３１住宅 | 土地 | ー | 13,750,627,664 | 使用低下の見込み（建替えによる募集制限等） | ― | （建替え後）回復の見込み |
| 建物 | 85,804,296,334 | 使用低下の見込み（建替えによる募集制限等） | 一体として府営住宅としての用を成しているため | （建替え後）回復の見込み |
| 工作物 | 3,808,131,170 |
| 府営住宅千里古江台住宅・吹田古江台住宅 | 土地 | ー | 866,041,559 | 使用低下の見込み（建替え・耐震改修による募集制限等） | ― | （建替え後・耐震改修後）回復の見込み |
| 建物 | 5,171,264,521 | 使用低下の見込み（建替え・耐震改修による募集制限等） | 一体として府営住宅としての用を成しているため | （建替え後・耐震改修後）回復の見込み |
| 工作物 | 254,952,985 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 用途 | 種類 | 場所 | 帳簿価額（円） | 減損の兆候の概要 | 複数の固定資産を一体として行政サービスを提供するものと認めた理由 | 減損を認識しない根拠 |
| 府営住宅毛馬東外５３住宅 | 土地 | ー | 7,245,343,143 | 使用低下の見込み（大阪市に移管予定） | ― | 移管（平成27年８月）まで使用を継続（平成27年度減損認識予定） |
| 建物 | 51,323,746,316 | 使用低下の見込み（大阪市に移管予定） | 一体として府営住宅としての用を成しているため | 移管（平成27年８月）まで使用を継続（平成27年度減損認識予定） |
| 工作物 | 663,038,860 |

府営住宅毛馬東外５３住宅は、平成27年８月に大阪市に移管予定のため、減損損失額（土地：7,245,343,143円、建物：51,323,746,316円、工作物663,038,860円）が発生する見込みです。

（２）その他財務諸表の内容を理解するために必要と認められる事項

事業の概要

府営住宅の企画・整備・運営・管理等を行っています。